



# 途中バス停の利用状況

## 1. 利用者が多いバス停、利用者が少ないバス停

途中バス停とは、バスの始発便がある熊谷駅南口、立正大学、森林公園駅以外のバス停のことです。

表1 途中バス停の利用状況

利用するバス停	人数	割合
宮前町	63	5.73%
上熊谷駅入口	196	17.82%
榎町	59	5.36%
大橋南	1	0.09%
村岡三叉路	10	0.91%
支所前	5	0.45%
吉岡学校入口	4	0.36%
平塚	2	0.18%
文殊様	22	2.00%
薬王寺	2	0.18%
森林公園西口	2	0.18%
観音前	2	0.18%
滑川中学校	2	0.18%
森林公園南口入口	54	4.91%
ほとんど利用しない	649	59.00%
無回答	34	3.09%

### (1) 利用者が多いバス停

宮前町～榎町は、周辺に学生がたくさん住んでいて、買い物をする店などが多いことから利用者が多いようです。

森林公園南口入口は、近くに大型のショッピングモールがあることから、利用者が多くなるようです。

文殊様は、本学の学生寮が近くにあるので、学生寮居住の人が主に利用しているようです。

### (2) 利用者が少ないバス停

上記以外のバス停の利用者は、ほとんどいません。理由として学生の利用する施設が、あまり周囲にないということが考えられます。

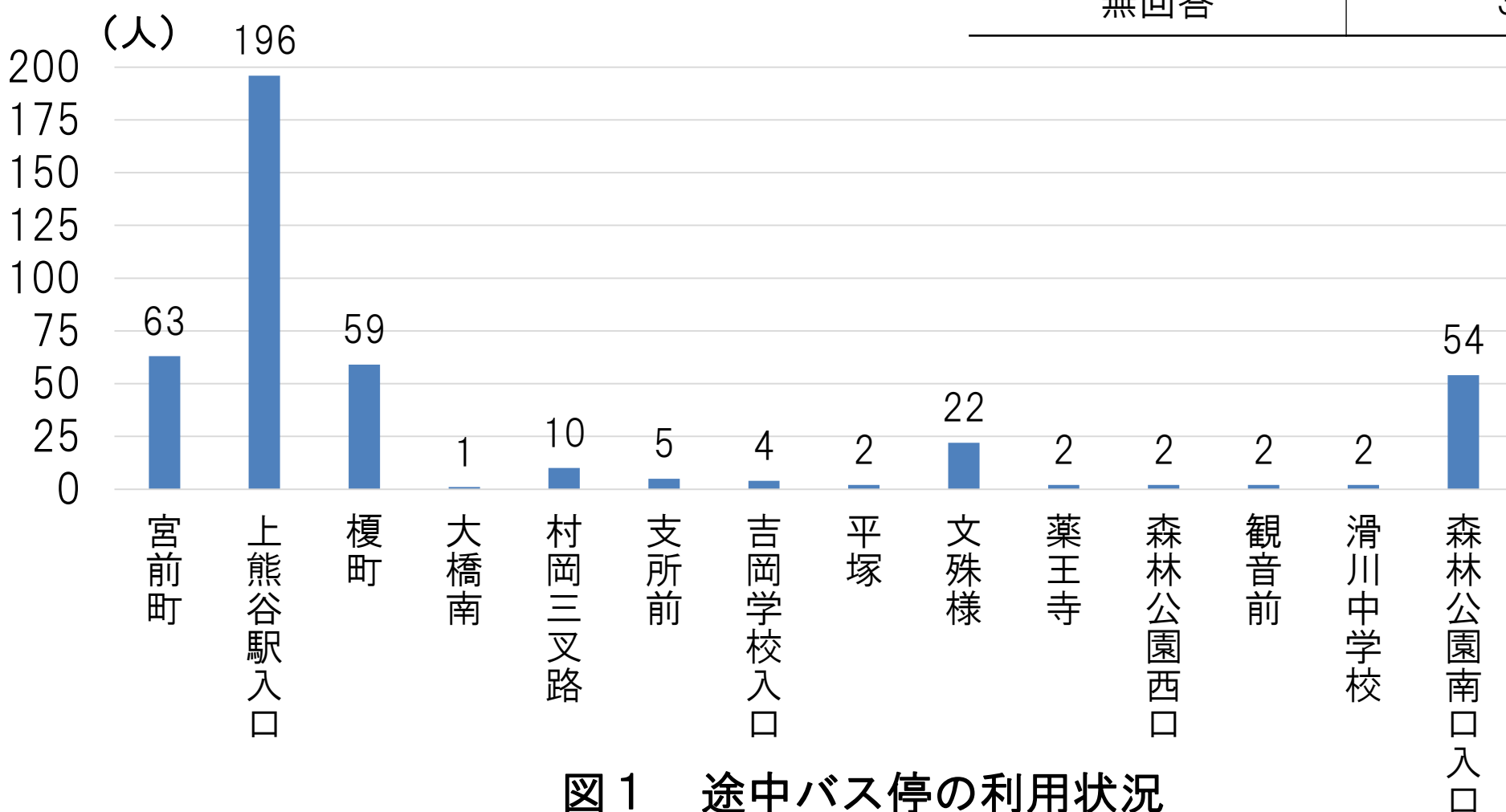


図1 途中バス停の利用状況

## 2. バスを利用する方々の行先

立正大学線を取り上げているため、大学への通学目的が多数となっています。他はアルバイトや買い物や遊興が中心です。

最も少なかったのは他路線への乗り継ぎです。村岡三叉路などの分岐点などで乗り換える方はごく一部のようです。

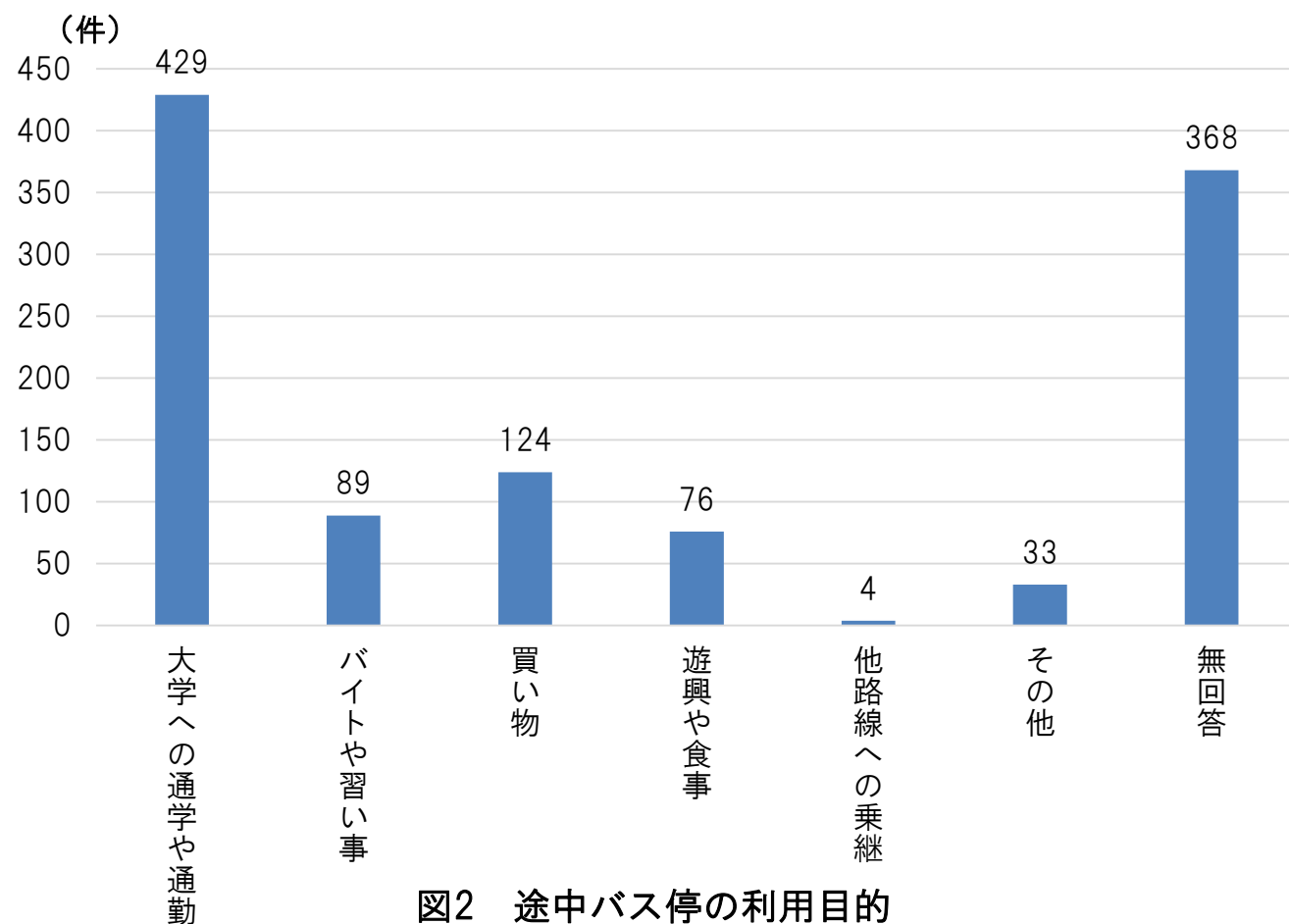


図2 途中バス停の利用目的

表2 途中バス停の利用目的

利用目的	件数	割合
大学への通学や通勤	429	39.0%
バイトや習い事	89	8.1%
買い物	124	11.3%
遊興や食事	76	6.9%
他路線への乗り継ぎ	4	0.4%
その他	33	3.0%
無回答	368	33.5%

## 3. バスを使う頻度は決して多いほうではない？

先ほどのバスの利用目的の約4割ほどが大学関係者だったため、ほぼ毎日でも4割近くになるかと思われましたが、意外と少ない印象です。

大学は、時間割が自由に選択できることなどが、このような結果に結びつくのかと推測できます。

表3 途中バス停の利用頻度

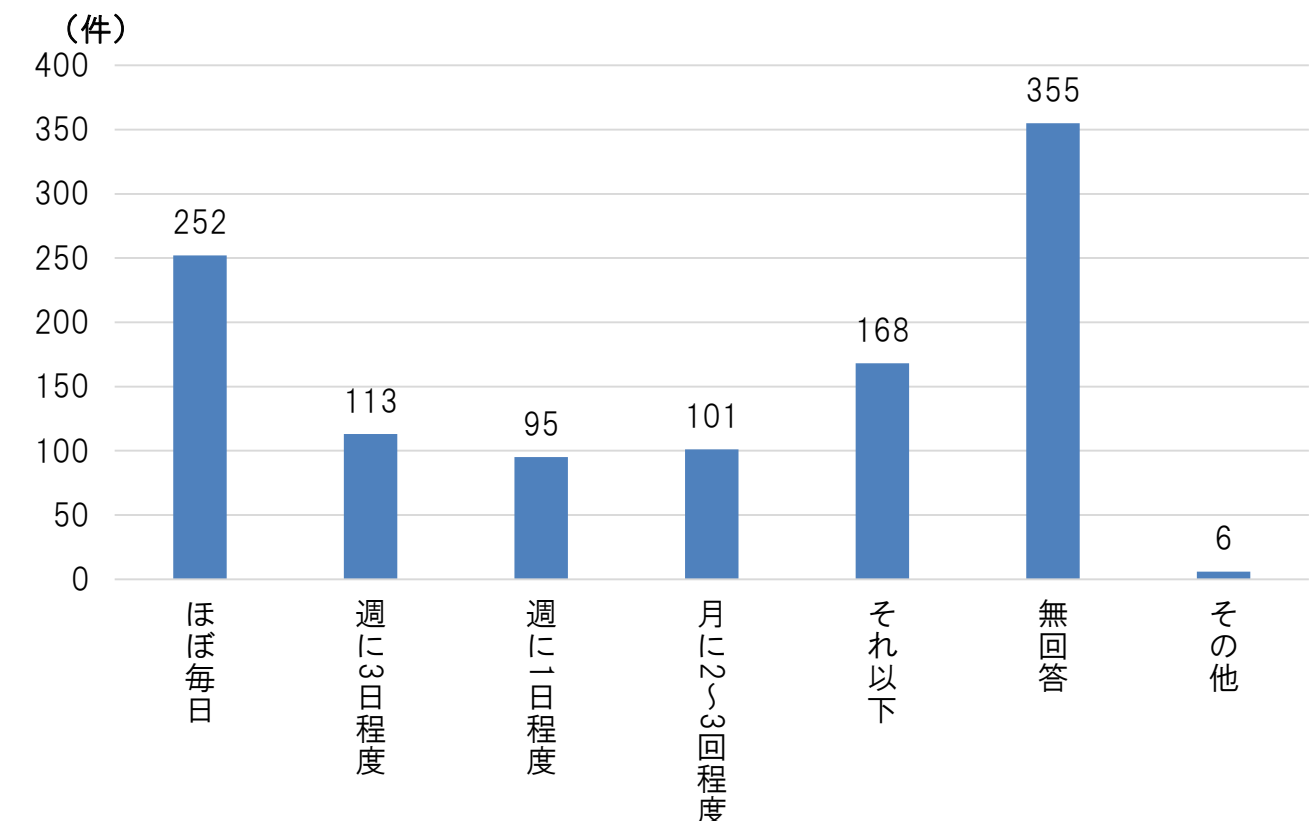


図3 途中バス停の利用頻度

利用頻度	件数	割合
ほぼ毎日	252	22.9%
週に3日程度	113	10.3%
週に1日程度	95	8.6%
月に2~3回程度	101	9.2%
それ以下	168	15.3%
無回答	355	32.3%
その他	6	0.5%

就活や新入生などの影響によって、この結果は大きく変わると考えられます。このアンケートを実施した夏から秋にかけてはこのような結果ですが、冬や春に実施するとまた違う結果になるかもしれません。